

106回国家試験(薬理・必須)

問30 レボドパ含有製剤で治療中のパーキンソン病におけるwearing-off現象を改善させるアデノシンA_{2A}受容体遮断薬はどれか。1つ選べ。

- 1 アポモルヒネ
- 2 アマンタジン
- 3 ブロモクリプチン
- 4 **イストラデフィリン**
- 5 ロチゴチン



243回統一模擬試験 I (病態・薬物治療・必須)

問59 レボドパ製剤投与により生じるwearing-off現象の改善に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- 1 ドロキシドパ
- 2 ハロペリドール
- 3 ゾルピデム酒石酸塩
- 4 **イストラデフィリン**
- 5 ビペリデン塩酸塩

106回国家試験(薬剤・必須)

問44 **チザニジン**の代謝を阻害するのはどれか。1つ選べ。

- 1 エシタロプラム
- 2 セルトラリン
- 3 パロキセチン
- 4 フルボキサミン**
- 5 ミルナシプラン



243回統一模擬試験 I (薬剤・実践一部抜粋)

問270-271 42歳女性。下記の心療内科の処方箋を薬局に持参した。また、お薬手帳には、他院で処方され現在服用中の内容が記載されていた。

処方薬：**フルボキサミンマレイン酸塩錠** お薬手帳に記載の薬剤：ニフェジピン徐放錠、プラバスタチンナトリウム錠、チザニジン塩酸塩錠、ロラゼパム錠、ラメルテオン錠

問270 この患者が服用している薬剤の中に今回処方された薬物と併用禁忌のものがあるため、処方した医師に疑義照会を行った。併用禁忌となる薬剤はどれか。2つ選べ。

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------|
| 1 ニフェジピン徐放錠 | 2 プラバスタチンナトリウム錠 | |
| 3 チザニジン塩酸塩錠 | 4 ロラゼパム錠 | 5 ラメルテオン錠 |

106回国家試験(法規・制度・倫理・必須)

問71 1981年に出されたリスボン宣言は何に関する宣言か。1つ選べ。

- 1 医師の専門職としての倫理
- 2 ヘルスプロモーション
- 3 ヒトを対象とする医学研究の倫理
- 4 プライマリヘルスケア
- 5 患者の権利



243回統一模擬試験 I (法規・制度・倫理・理論)

問143 リスボン宣言に関する記述はどれか。1つ選べ。

- 1 日本では法的拘束力がある。
- 2 人を対象とする医学研究の基本原則である。
- 3 患者に自己決定の権利があることが示されている。
- 4 医療を行う医師の心掛けを表したものである。
- 5 臓器移植におけるドナーの死の判定を規定している。

106回国家試験(薬剤・実践)

問275 この処方医に説明するときに提示する、後発医薬品と先発医薬品の**生物学的同等性**を規定する薬物動態パラメーターはどれか。2つ選べ。

- 1 分布容積
- 2 **最高血中濃度**
- 3 消失半減期
- 4 平均滞留時間
- 5 **血中濃度時間曲線下面積**



244回統一模擬試験Ⅱ(薬剤・実践)

問273 後発医薬品は、先発医薬品と生物学的に同等である。経口即放性製剤の単回投与試験における**生物学的同等性**評価パラメーターはどれか。2つ選べ。ただし、作用発現時間の差が医薬品の臨床的有用性に影響を与える可能性はないものとする。

- 1 **最高血中濃度**
- 2 分布容積
- 3 肝抽出率
- 4 尿中未変化体排泄率
- 5 **血中薬物濃度時間曲線下面積**

106回国家試験(病態・薬物治療・実践)

問287 この患者に前問の治療薬(アルテプラゼ)を選択する際に、確認が必要なのはどれか。2つ選べ。

- 1 頭蓋内出血の有無
- 2 動脈血液ガス分析の結果
- 3 好中球数
- 4 eGFR
- 5 脳梗塞の発症時刻



245回統一模擬試験Ⅲ(病態・薬物治療・実践)

問289 搬送先の病院で治療のため、アルテプラゼ注射剤の投与が検討されている。本剤投与前に患者情報を確認する際に、優先順位の低いものはどれか。2つ選べ。

- 1 投与時の血圧
- 2 頭蓋内の出血の有無
- 3 投与時の血清カルシウム値
- 4 発症からの経過時間
- 5 投与時の好中球数

106回国家試験(病態・薬物治療・実践一部抜粋)

問292-293 13歳女児。身長127cm、体重23kg。多飲、多尿、口渇と1ヶ月に3kgの体重減少があった。ある朝、全身倦怠感、下痢、嘔吐があり、意識障害となったため母親が救急車を要請し、病院に搬送された。1型糖尿病と診断され入院となった。

(検査値)

血糖値770mg/dL、尿糖(4+)、尿蛋白(-)、尿中ケトン体(4+)、Na132.0mEq/L、K4.2mEq/L、動脈血液ガスpH7.1、 HCO_3^- 9.0mEq/L

問293 この患児への初期対応として適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 ジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害薬の経口投与
- 2 **インスリンの点滴静注**
- 3 グルコン酸カルシウムの点滴静注
- 4 **生理食塩液の点滴静注**
- 5 5%ブドウ糖注射液の点滴静注



244回統一模擬試験Ⅱ(病態・薬物治療・実践一部抜粋)

問294-295 29歳男性。意識障害のため救急車で緊急搬送された。

経過と現病歴:7年前、入社時の健康診断で高血糖と尿糖を指摘されたが病識が低く、特に症状もないため放置していた。半年前から口渇と多尿があり、ジュースやスポーツドリンクを1日2~3L飲むようになった。最大体重は27歳の時の96kgであり、以来96kg前後で推移していたが、1ヶ月前から体重が急激に減少し、倦怠感が増強した。今朝は全身がぐったりし、意識がもうろうとなった。

.....

検査所見:血糖値820mg/dL、HbA1c14.6%、Na135mEq/L、Cl96mEq/L、K4.5mEq/L、尿糖(4+)、尿中ケトン体(3+)、動脈血pH7.20、抗GAD抗体陰性。

問294 本患者に最初に行うべき処置として、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 炭酸水素ナトリウムの静注
- 2 メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウムの静注
- 3 グリメピリドの内服
- 4 0.9%生理食塩液の点滴静注
- 5 速効型インスリン製剤の持続静注